

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

- Q1. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「さらに」は文末の打消「ず」と呼応。「全く知らない」。現代語の「加えて」ではない。
- Q2. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は文末の打消「ず」と呼応して不可能。「行くことができない」。
- Q3. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめ」は禁止の終助詞「な」と呼応。「決して忘れるな」。
- Q4. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は打消推量「じ」と呼応。「まさかあるまい」。「ず」ではなく「じ」。
- Q5. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「もし」は假定条件の「ば」と呼応。「もし雨が降るならば」。
- Q6. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで（か）」は文末の「む」と呼応し反語。「どうして忘れようか、いや忘れない」。
- Q7. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は文末の「知らず」と呼応。「さあ、（その人の）心はわからない」。
- Q8. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は当然の「べし」と呼応。「当然行くべきだ」。現代語の「その通り」ではない。
- Q9. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「つゆ」は打消「ず」と呼応。「少しも違わない」。
- Q10. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「答えることができない」。
- Q11. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「な」は「～そ」と呼応する禁止。「騒ぐな」。「な…そ」で一組。
- Q12. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は打消推量「じ」と呼応。「まさか逃すまい」。
- Q13. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「たとひ」は逆接假定の「とも」と呼応。「たとえ身は死んでも」。
- Q14. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「など（かは）」は反語。文末「む」と呼応。「どうして参上しないことがあろうか」。
- Q15. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然報いるべきだ」。
- Q16. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「をさをさ」は打消「ず」と呼応。「めったに見えない」。
- Q17. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消接続「で」と呼応して不可能。「言うことができないで終わった」。
- Q18. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめゆめ」は禁止「な」と呼応。「決して人に語るな」。
- Q19. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「もし」は假定（「ずは」＝～ないならば）と呼応。「もし来ないならば」。
- Q20. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「あへて」は打消「ず」と呼応。「決して驚かない」。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

- Q21. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「かつて」は打消「ず」と呼応。「全く聞いたことがない」。
- Q22. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消推量「まじ」と呼応して不可能。「堪えられそうにない」。
- Q23. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで」が打消推量「じ」と呼応する反語的表現。「どうしてこの様を見せようか」。
- Q24. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさか違うまい」。
- Q25. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「すこしも」は打消「ず」と呼応。「少しも惜しまない」。
- Q26. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「な」は「そ」と呼応する禁止。「急ぐな」。
- Q27. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然従うべきだ」。

- Q28. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は「知らず」と呼応。「さあ、行く末もわからない」。
- Q29. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「避けることができない」。
- Q30. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「よしや」は逆接假定「とも」と呼応。「たとえ世が変わっても」。
- Q31. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「つゆ」は否定の「なし」と呼応。「少しも情けがない」。
- Q32. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「なんぞ」は反語。文末「む」と呼応。「どうして疑おうか」。
- Q33. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめ」は禁止「な」と呼応。「決して油断するな」。
- Q34. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさか忘れまい」。
- Q35. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「さらに」は打消「ず」と呼応。「全く物音もしない」。
- Q36. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「渡ることができない」。
- Q37. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「もし」は假定「ば」と呼応。「もしかなうならば」。
- Q38. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「など（かは）」は反語。「どうして知らないことがあろうか」。
- Q39. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は不明を表し、「いかが（～だろうか）」など不明の表現と呼応。「さあ、どうであろうか」。
- Q40. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然老いるはずだ／今にも老いそうだ」。
- Q41. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「あへて」は打消「ず」と呼応。「決して辞退しない」。
- Q42. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「な」は「そ」と呼応する禁止構文。「泣くな」。
- Q43. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさか負けまい」。
- Q44. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「こらえることができない」。
- Q45. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで（か）」は反語。「どうして参上しないことがあろうか」。
- Q46. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「たとひ」は逆接假定「とも」と呼応。「たとえ雨が降っても」。
- Q47. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「をさをさ」は打消「ず」と呼応。「ほとんど劣らない」。
- Q48. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめ」が「な～そ」と呼応する強い禁止。「決して怠るな」。
- Q49. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然死ぬはずだ」。なお「まさに～んとす」と続く形は漢文の再読文字「将（まさに～んとす＝今にも～しようとする）」の型で、「当に～べし（当然）」とは別物。
- Q50. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は「知らず」と呼応。「さあ、私は知らない」。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで」は願望にもなるが、ここは願望の終助詞「ばや」と呼応。「なんとかして見たい」。（反語・疑問の語が文脈で願望に転じた例）
- Q52. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「さらに」は「なし」と呼応。「全く変わることはない」。
- Q53. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「思い捨てることができなくなった」。
- Q54. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさかそうではあるまい」。
- Q55. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「な」は「そ」と呼応する禁止。「ものを言うな」。
- Q56. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「もし」は假定「ば」と呼応。「もし生きていたならば」。
- Q57. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「なんぞ」は反語。「どうしてためらおうか」。

- Q58. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「つゆ」は打消「ず」と呼応。「少しも違わない」。
- Q59. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然報いるべきだ」。
- Q60. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消接続「で」と呼応して不可能。「こらえることができないで泣いた」。
- Q61. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は「知らず」と呼応。「さあ、人の心はどうかとわからない」。
- Q62. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさか漏らすまい」。
- Q63. 答え：仮定（～ば・とも） 解説：「たとひ」は逆接仮定「とも」と呼応。「たとえどんな罪があっても」。
- Q64. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで（か）」は反語。「どうしてご存じないことがあろうか」。
- Q65. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめ」は禁止「な」と呼応。「決して疑うな」。
- Q66. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「さらに」は打消（「あらず」）と呼応。「全く驚くべきではない」。
- Q67. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え（しも）」は打消「ず」と呼応して不可能。「こらえることができない」。「しも」は強意。
- Q68. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然到達するはずだ」。
- Q69. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「など」は反語。「どうして人の言うことを用いないことがあろうか」。
- Q70. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさかだまされまい」。
- Q71. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「あへて」は否定の「なし」と呼応。「全く異議がない」。
- Q72. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「な」は「そ」と呼応する禁止。「侮るな」。
- Q73. 答え：仮定（～ば・とも） 解説：「もし」は仮定「ば」と呼応。「もしついでがあれば」。
- Q74. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は「知らず」と呼応。「さあ、本当のところはわからない」。
- Q75. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「退出することができない」。
- Q76. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで」は反語。「どうして月を見ないことがあろうか」。
- Q77. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「をさをさ」は打消「ず」と呼応。「ほとんど慎まない」。
- Q78. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「当然避けるべきだ」。
- Q79. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「まさか違えまい」。
- Q80. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめゆめ」は禁止「な」と呼応。「決して油断するな」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「さらに」は打消（「あらず」）と呼応。「これしきのことに、全く驚くべきではない」。
- Q82. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消「ず」と呼応して不可能。「心では思うけれど、言い出すことができなくなった」。
- Q83. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめ」は禁止「な」と呼応。「この秘事を、決して人に漏らすな」。
- Q84. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は打消推量「じ」と呼応。「あれほど誓ったのだから、まさか裏切るまい」。
- Q85. 答え：仮定（～ば・とも） 解説：「もし」は仮定（「ずは」＝～ないならば）と呼応。「もしこの世で逢えないならば」。

Q86. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで（か）」は反語。「主君の仰せに、家臣たる者がどうして背こうか、いや背かない」。

Q87. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は「知らず」と呼応。「その人の心の中は、さあ、私にはわからない」。

Q88. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「罪を犯した者は、当然罰せられるべきだ」。

Q89. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消推量「じ」と呼応して不可能の推量。「道が遠いので、今日は帰ることができそうにない」。

Q90. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「つゆ（ばかりも）」は否定の「なし」と呼応。「長年、少しも忘れる時がない」。

Q91. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「な」は「そ」と呼応する禁止。「どんな大事があっても、騒ぐな」。

Q92. 答え：打消推量（よも～じ） 解説：「よも」は「じ」と呼応。「これほど賢い人が、まさか間違えまい」。

Q93. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「いかで」が願望の終助詞「ばや」と呼応した願望。「私は、なんとかしてこの本意を遂げたい」。（反語・疑問の語が願望に転じた例）

Q94. 答え：假定（～ば・とも） 解説：「たとひ」は逆接假定「とも」と呼応。「たとえ千万の敵がいても、退くまい」。

Q95. 答え：不可能（え～ず） 解説：「え」は打消推量「じ」と呼応して不可能の推量。「これほどの恥を見ては、世に生きていることもできそうにない」。

Q96. 答え：反語・疑問（～む・や・か） 解説：「など（かは）」は反語。「どうして不思議だと思わないことがあろうか」。

Q97. 答え：打消（～ず・なし） 解説：「さらに」は否定の「なし」と呼応。「全く人が聞き入れることがない」。

Q98. 答え：禁止（な・な～そ） 解説：「ゆめ」は禁止「な」と呼応。「決してこの道を間違えるな」。

Q99. 答え：不明（いさ～知らず） 解説：「いさ」は「知らず」と呼応。「行く先のことは、さあ、誰もわからない」。

Q100. 答え：当然（まさに～べし） 解説：「まさに」は「べし」と呼応。「天命であるから、当然受けるべきだ」。